

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学

産学連携 3D 教育プロジェクト
<http://3dep.hosei.ac.jp/>

産学連携 **3D** 教育プロジェクト

産学連携3D教育プロジェクトシンポジウム開催報告

特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)



略 歴

84年成城大学法学部卒。

日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

e-mail:

ysuzuki@stage41.com

yoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp

研究室は一口坂校舎8F

(7月に移転しました。)

2月3日(火)に市ヶ谷キャンパスにて本プロジェクトの活動報告(シンポジウム)を開催いたしました。今回は38人の方にお集まり戴きましたが、大学就職課(キャリアセンター)職員の方々のご参加が目立ちました。今回は文科省事業の最終年度にあたりますが、この5年間で構築した資産とノウハウを学内外に広く展開していこうと思います。

シンポジウム概要

- ・**基調講演** リーダーの藤村教授が、これまでの活動の振り返りと大学教育が社会に役立つことを改めて解説された。
- ・**正課授業** 1～4年次に6科目の授業を行い、年間約1500人が受講。いずれの授業も教員や学生との対話を重視して展開してきた。
- ・**ビデオ教材** これまで8本のビデオを制作し、学内外で延べ1万人が受講。来年度はビデオ教材授業の研究会を定期的に開催する。
- ・**HAT** 測定により、「書ける女子」と「動ける男子」の傾向が明らかに。過去1000人のデータを分析し成績との関連を測るのが課題。
- ・**共働実習** 昨年に続きビジネスコンテストを実施。PBL型授業の手法を確立できた。こうした事業に参画する企業の開拓を進める。

ご来客の感想から

「現状のキャリア教育が学生に間違った感覚をもたせてきたのではないかな? という藤村先生の指摘が心に響きました。」

「机上の学びだけではなく、教員自らが自身のネットワークを活かし、社会人として大切な人と人とのつながりの実用性を実践していることが素晴らしい。」

「18大学の連携はあるようですが、この取組が、地方の大学への普及や巻き込みはあるのでしょうか? またグローバルとはどう扱われるのでしょうか?」

「企業人の中には、(人材育成を)大学任せにしているところもあるが、ここまで進んでいる大学があるということも我々企業人は学ばなければならない。」

*シンポジウム資料については、プロジェクトの広報サイトにアップしています。
<http://3dep.hosei.ac.jp/>



正課教育は学生の選ぶ力を高める

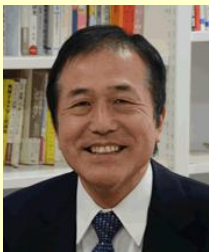
教授 藤村 博之（ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー）

ジャムの展示販売で 24 種類示したときと 6 種類示したときで売れ方が異なるという実験がある。24 種類示すと顧客は興味を示すが、購買量は 6 種類示したときの方がはるかに多くなる。私たちは、選択肢が多すぎると選べなくなるようだ◆ネットでエントリーするようになってから学生の選択肢は大幅に増えた。たくさんの企業を見られるから良くなったという意見もあるが、25 年以上学生を見てきた経験からすると、選択肢の増加は学生の幸せにはつながっていないように思える◆100 社にエントリーし、すべての会社についていねいに調べることは不可能に近い。しっかり調べられるのは 10 社から 15 社くらいだろう。問題は、どう絞り込むかである◆学生は、論文を書くことによって選ぶ力を高めている。論文を書くには、先行研究を検討し、使える情報とそうでない情報を選び分ける必要があるからだ。大学本来の教育が就職活動にも役に立つ一例として強調しておきたい。

略歴 84 年名古屋大学大学院卒。京都大学博士(経済学)。84~89 年京都大学経済研究所助手、90~97 年滋賀大学経済学部助教授・教授。97 年~03 年法政大学経営学部教授、04 年~IM 研究科教授。

きっかけを掴む！知る！活かす！

特任教員 有田 五郎（ありた ごろう）



イスラム国問題をきっかけに、イスラム復讐の猛勉強に取り組んだ。総合商社在籍中に合計3回累計15年弱もの期間を中近東に駐在した。最後が今回注目のアンマンで6年間を過ごし、ヨルダン日本国大使館やシリアには毎月訪問、イラクへの出張もあった。従い、イスラム教徒の考え方や大切な人と人とのつながりの実用性を実践していることが素晴らしい。」の接し方・仕事の仕方は誰よりも身に付けている。今回、彼らの歴史やモハメッド教えの意味などを改めて振り返る勉強をした。

略歴 70 年慶応義塾大学経済学部卒。70~06 年伊藤忠商事労働務、06~11 年帝京大学と法政大学職員。11 年~法政大学教員

イスラム国問題の根幹は宗派対立と第一次世界大戦の後遺症とも言える。大学のグローバル化の流れの中、この分野でも現場を語る授業が出来るレベルを目標として取り組んだ。きっかけを掴む意思、そして必要な行動に移る態度がキャリア形成事例の一つとして学生達に役立てばと期待する。

入学試験に見る「今様」

学部事務課長 細田 泰博（ほそだ やすひろ）



世間では休閑期のニッパチ(2月・8月)ですが、大学業界では2月は入試、8月はオープンキャンパスと、一番機動力の要る時期になります。

入試の運営に長年携わっていると、変わらないこと・変わったことが目につきます。

試験中に出る「受験生からの質問」は今様を映すもの、といったら大袈裟ですが、高校までの教育環境を垣間見ることはできます。「これでいいんでしょうか？」自分の解答方法が的外れでないか訊いてくる、そんな質問は最近になって急に増えた気がします。

かつては試験の解答について確認してくるなどあり得なかったのですが、ただこれは学力低下を表しているのではないと思います。中学生の娘に訊いても「不安に思ったら大人(先生)に確認する」は、逆にそう教えられているからしているようです。

やがては彼らの世代が多数派になる訳ですから、「そんなこと聞くなよ」ではなく、コミュニケーションの基本形として、こちらがこれに対応していく必要があるかもしれません。

法政大学社会学部社会学科卒。
学務部学部事務課長
本学応援団総監督

◆ インターンシップ スタンブラリー

文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業の取組み「インターンシップ スタンブラリー」が始まりました。協力企業 10 数社より 3 社を選んで 1 日インターンシップを実施します。また、事前研修としてビジネスマナーを学び、最終日には企業との交流会が行われます。スタンブラリー形式でそれぞれ実習後にもらえるスタンプを集めると、修了証が発行されます。2/2 に本学にてビジネスマナー研修が行われ、連携 16 大学から 45 名が参加しました。企業訪問に備え、挨拶・お辞儀の仕方や名刺の受け取り方などを学びました。

◆ 編集後記： 入学試験が終わりました。昨年の大雪に比べれば大したことはありませんが、今年も毎日ちょっとした事件の連続でした。そのちょっとしたことを処理していく積み重ねで自分の経験値(Ex)が貯まっています。でもいくら経験値(Ex)を貯めてレベル(Lv)があがっても、入学試験ではボスキャラには会いたくありません…。< 事務局:平山 >

法政大学 産学連携 3D 教育プロジェクト (事務局:学務部教育支援課)
〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
TEL:03-3264-9520 WEB:http://3dep.hosei.ac.jp/

産学連携 3D 教育プロジェクト